

**pal\*system**

# 地域・環境・社会貢献レポート

# 2016



生活協同組合パルシステム山梨

<http://www.palsystem-yamanashi.coop>

## 地域と協働で地域の生活サポート

内閣府の平成26年高齢社会白書によれば、山梨県の高齢化率は26.6%。一方、全国は25.6%と、本県の高齢化率は全国平均を1%上回っています。2040年には、全国高齢化率が平均40%を占めると予測されています。今後益々加速する高齢化に向けては、官民が一体となり、高齢者が安心して安全に暮らせる社会基盤の形成は喫緊の課題です。

そうした中、生活協同組合パルシステム山梨は、地域住民の安心・安全な暮らしの実現を目的に、これまでに23市町村・2社協との見守り事業に関する協定を締結してきました。

この協定は、日々の配達業務や仲間づくり業務中に、地域住民の異変の察知や、何らかの支援を必要としている方を発見した場合に関係機関へ連絡すること。また生命・身体・財産に関わる緊急通報が必要と判断した場合、消防署及び警察へ通報する内容です。

このように、一人でも多くの目や手、耳を持って見守り活動を行うことで、地域の安心・安全に寄与・貢献したいと考えています。



協定式のようす（甲府市）

## 見守り協定締結市町村・団体

甲府市・富士吉田市・都留市・山梨市・大月市・韮崎市・南アルプス市・北杜市・笛吹市・上野原市・甲州市・中央市・市川三郷町・早川町・南部町・昭和町・富士川町・西桂町・富士河口湖町・道志村・忍野村・山中湖村・鳴沢村・笛吹市社会福祉協議会・昭和町社会福祉協議会  
※丹波山村、小菅村は配達エリア外となります。

※2016年5月1日現在

## 同組合パルシステム山梨・山梨市



## 災害時における相互協力に関する協定

西桂町および甲府市との「災害時における相互協力の見直し」をすすめました。地域における大規模地震やその他の自然災害発生時に、相互協力により住民の方々の早期安定を図る事を目的にしています。



協定式のようす（西桂町）

## 救命救急講座・認知症サポーター養成講座

日頃の業務を通じて、万が一の緊急事態に備えるための救命救急講座(普通救命講習)と、誰もがなり得る可能性のある認知症を正しく理解し今後の業務へも活かしていくことを目的とした認知症サポーター養成講座を開催しました。



## 組織概要

名 称 生活協同組合パルシステム山梨  
本部所在地 〒400-0051 山梨県甲府市古上条町225-1  
理 事 長 白川 恵子  
専 務 理 事 志村 宏司  
職 員 数 180人(正規職員57人／定時職員123人)  
※2016年3月31日現在  
設 立 1962年4月「山梨県労働者生活協同組合」設立  
1992年4月「山梨県労働者生活協同組合」「山梨県郡内労働者生活協同組合」合併。「生活協同組合コープやまなし」設立  
2009年8月「生活協同組合パルシステム山梨」へ名称変更

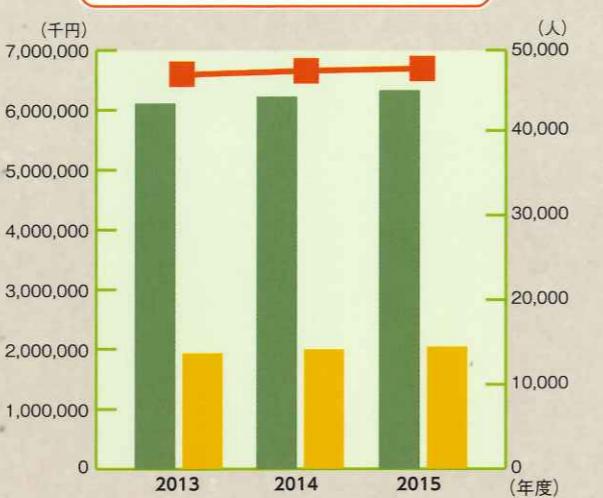
### ●働きやすい職場に向けて

- ・次世代認定マーク「くるみん」3回目の認定となりました。今年度より一層、働きやすい職場環境づくりを目指し4回目の行動計画を策定し取り組んでいます。
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進
- ・家族サービス休暇制度を制定
- ・女性が働きやすい職場づくりに向けた意見交換会
- ・平成27年度やまなし女性の活躍支援事業への参加
- ・男性職員の家事・育児への理解を育むイクメン講座の開催



## 事業概要

### パルシステム山梨供給高推移



2015年度  
実績  
供給高: 63.0億円  
出資金: 20.4億円  
組合員数: 48,329人

## 事業(宅配など)を通じての地域・暮らしへのお役立ち

### ●法人利用

生活協同組合は長年にわたり食の安全を追及する先駆的な存在であることや地域の中核となって福祉事業に取り組んできた活動が高く評価されたことにより、2007年に生協法が改正され、法人向け供給(員外利用)が一部可能になりました。

それに伴い、パルシステム山梨でも2013年に山梨県より認可を取得し、法人向け商品提供を開始しています。

2015年度末には幼稚園・保育所や介護施設、小中学校、県内登録数267団体に広がり、財団法人山梨県学校給食会の登録業者としても認可を受けています。

幼稚園・保育所・学童・児童館・学校などの教育文化施設
児童福祉・厚生施設、子育て支援施設
養護老人ホーム・特養老人ホーム・軽費老人ホーム・デイサービスセンター、有料老人ホーム、介護老人保健施設などの高齢者福祉関連施設

### ●メイトパル

地域の組合員によって商品をお届けするメイトパルは、高齢者が迷いがちな注文の仕方や商品の相談など、きめ細やかな対応ができる仕組みとして立ち上げました。配達時には話し相手や見守り(安否確認)も同時にこなえるとして、地域・組合員の期待も大きいため、今後も増やしていく計画です。



### ●ステーションパル

NPO法人や、諸団体事務所の空きスペースを商品の受け取り拠点とし、地域コミュニティの活性化を目的にスタートしました。このステーションパルを介して地域の人たちが結びつき、お互いが助け合えるかたちを構築していきたいと考えています。



## ●CO・OP共済

組合員の暮らしを保障の分野でサポートする仕組みとして、パルシステム共済連合会、日本コープ共済連合会を引受団体として、CO・OP共済を取り扱っています。病気やケガ、また風水害への見舞金など、直接的なお役立ちの他、組合員の健康維持増進など広く役立てるための「たすけあい活動助成金」による活動もおこなっています。

### \*2015年度たすけあい活動助成金活動(一部)

- 食物アレルギーをもつご家族向けに正しい知識を身につけていただくための「アレルギー講演会」
- 女性のための健康講座として、塩分控えめで健康でいるための食事提案や添加物について学ぶ講座
- 高齢者にイキイキと暮らしていただくための活動として、「運動会」や「健康まつり」
- 健康維持のために、地域資源を活かした食の提案の場としての「発酵まつり」



## 産直(産地直結)と食の安全

### ●パルシステムの産直

大切にしているのは、「つくる人」と「食べる人」がともに健康で安心なくらしを実現するため、理解し合い、利益もリスクも分かち合える関係を築くこと。

- 1 生産者、産地が明らかであること
- 2 生産方法や出荷基準が明らかで生産の履歴がわかること
- 3 環境保全型・資源循環型農業をめざしていること
- 4 生産者や組合員相互の交流ができること

現在、この四原則に基づいて産直協定を交わしている産地は約380。これらの産地から出荷された商品のみを、パルシステムは「産直品」と位置づけています。すべての産地と栽培計画書を交わすなど、誰がどのように作ったものか、きちんとたどれる仕組みになっています。

### ●産地とのつながり

組合員や職員が産地を訪問し、生産者の取り組みや苦労などを実際に体験、また生産者が来県しての料理教室も開催し交流を深めています。

また産地での栽培方法や生産履歴を組合員生産者がともに確認しあう二者認証制度の公開確認会を1999年よりおこなっています。



### ●食の安心・安全のために

東京都・稻城市に独自の検査センターを設置し、食品の安全性や品質確認に必要な理化学検査と微生物検査を行っています。放射能測定は2台のゲルマニウム半導体検出器を使用しています。検査結果はホームページ上でご覧いただけます。

放射能関係のお知らせ 2016年4月1回(白黒) pal-system

お問い合わせ 2016年4月4~4月10日 週行 8時~16時(16時30分)

QSRの放射能についての検査結果を公表いたします。  
QSRは各社の検査結果をもとに、当社独自で検査を行っております。QSRは、検査結果が公表される場合は、公表を希望する場合に限り、公表を行います。QSRは、検査結果が公表される場合は、公表を希望する場合に限り、公表を行います。

検査項目	検査結果	検査方法
●検出された食品	●検出された食品	●検出された食品
●検査結果	●検査結果	●検査結果
●検査方法	●検査方法	●検査方法

●背景の検査について  
QSRでは、各社の検査結果をもとに、当社独自で検査を行っております。QSRは、検査結果が公表される場合は、公表を希望する場合に限り、公表を行います。QSRは、検査結果が公表される場合は、公表を希望する場合に限り、公表を行います。

### ●地産地消の取組み

パルシステム山梨の独自チラシ『うまい甲斐』では、県内農産物を多く取り扱い、地産地消のニーズにお応えしています。これら独自商品は、放射能や残留農薬の検査を自動的に行っています。検査結果はホームページ上でご覧いただけます。



### ●オープンカレッジ

組合員はもちろん、地域の方に「食や農」「地域を元気にする」学びの場として、2007年からオープンカレッジを開講しています。2015年度は8月に遺伝子組み換えをテーマにした「食の映画祭」、3月にTPPをテーマにした「食の講演会」を開催しました。

パパ、  
遺伝子組み換え  
ってなあに?



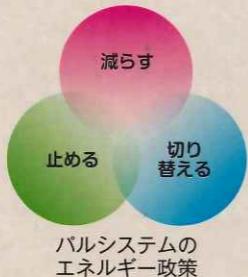
## 環境の取り組み

### ● エネルギー政策推進

パルシステムグループ全体で、エネルギー消費を「減らす」、原発を「止める」、再生可能エネルギーに「切り替える」という、エネルギー政策を推進しています。

- ・「減らす」節電と省エネ、効率化と最適化によってエネルギー消費をいっそう減らします。
- ・「止める」速やかに脱原発を実現します。
- ・「切り替える」原発への依存に替えて、再生可能エネルギーを急速に普及させます。

パルシステムは「協同の力」で生活者がエネルギーを選択できる社会を実現します。



### ● 電力の小売り自由化に向けて

「電力小売自由化 - 私たちの選ぶで社会が変わる!?'と題し、電力小売自由化という社会的状況に向き合うための視点について講師を招いて学習会を開催しました。

パルシステムグループとしては、再生可能エネルギーの販売に向けた検討として、2016年3月より子会社「パルシステム電力」で本格的に準備展開を開始しました。



### ● 「やまなし森の紙」使用

山梨の県有林の有効活用と、県内林業・紙業への波及効果を期待し、2011年11月より、FSC森林認証紙のコピー用紙「やまなし森の紙」を利用しています。環境省カーボン・オフセット第三者認証基準に基づくラベルが添付され、1箱あたり、1kg-CO<sub>2</sub>の山梨県県有林の間伐等の森林経営により創出された排出削減・吸収量が付与される取り組みも行われました。この年の、パルシステム山梨でのコピー用紙使用による排出削減・吸収量は1,062kg-CO<sub>2</sub>となりました。



### ● 『南都留森林組合の間伐材を使った商品開発』

パルシステムでは、この活動は実際に商品を利用する組合員が普段の暮らしの視点を活かして、商品の開発にご協力いただく取り組みを行っています。2015年度は、地元南都留森林組合の間伐材を使った生活用品の開発に取り組み、「食品トレー」として2016年6月の商品化につながりました。



## 東日本大震災復興支援／災害ボランティア

### ● 福島の子どもたち保養プログラム

パルシステムグループでは、組合員からのカンパを活用しながら福島県在住の子どもたちに放射線量の不安を感じることなく過ごしてもらう活動に取り組んでいます。

パルシステム山梨は、2015年8月に「富士山の麓で…山梨の夏を満喫しよう」と題して、パルシステム福島のご家族10組(26名)を受け入れました。



### ● 台風18号による大雨水害ボランティア活動

記録的な豪雨から、鬼怒川の堤防決壊により甚大な被害を受けた茨城県常総市の復旧のため、現地に職員を派遣しボランティア活動に参加しました。



## 地域・活動の支援

### ● 人材ネットワークと出前講座

組合員同士の助け合いや教え合いを活性化させる「人材ネットワーク」の仕組みづくりをすすめています。

保育、家事支援、食育、環境、保障・暮らし見直しなど様々なジャンルに組合員が登録し、依頼を受けて活動に出向きます。

その中で、5名以上を対象とした「出前講座」には、学童施設や高齢者施設から多くの依頼をいただいている。

#### 【講座例】

- ・手すきハガキづくり
- ・体にやさしいおやつ作り
- ・自然派お掃除
- ・手作りチーズを作ろう
- ・豆腐づくり
- ・おこづかいゲーム



### ● キッズフットサル大会

子ども達の活躍の場、スポーツ文化の支援として、8歳以下の対象の「パルシステム山梨杯U-8キッズフットサル大会」を開催しています。

2015年度は県内13チーム、選手約130名が出場しました。



### ● ヴァンフォーレ甲府を応援しています

「ヴァンフォーレ甲府」の、存続の危機(2001年)から支援を続けてきました。現在もピッチ看板や選手カード作成のほか、「パルシステムスペシャルマッチ」を開催し、地域のみなさんと共に熱い応援を行っています。



### ● 市民活動助成金

地域の活動が活発に行われ、元気に明るく楽しい暮らしを願う、地域貢献の取り組みとして、「市民活動助成制度」を実施しています。2002年より100を超える団体へ総額2,000万円以上の助成を行っています。2016年度は下記の団体に助成しています。

#### 【2016年度助成団体】

- under the same sky project実行委員会
- ・ごく楽介護の会
- ・マンマエルカート
- ・特定非営利活動法人五湖の会
- ・活動支援センター富士桜作業所
- ・富士五湖こども食堂プロジェクト
- ・あつたかおうちカフェの会
- ・大型子ども紙芝居さくら座
- ・杓子山観光協会
- ・都留・水みず探検隊
- ・にじいろステーションつくも

## フェアトレード 商品の普及



### ● ぱるはぴ

国内でまかなえず海外から輸入している商品は、「フェアトレード(公正な貿易)」でアジアなどから輸入しています。フェアトレードとは、立場の弱き人々が正当な報酬を受け、自立することを目指す仕組みのことです。カタログではバナナ、エビ(エコシュリンプ)、チョコレート(冬季限定)などがあります。

この活動をより身近に知りたいという思いから、中央市に店舗「フェアトレードショップぱるはぴ」を開店しています。地域イベントへの出張販売も行っています。



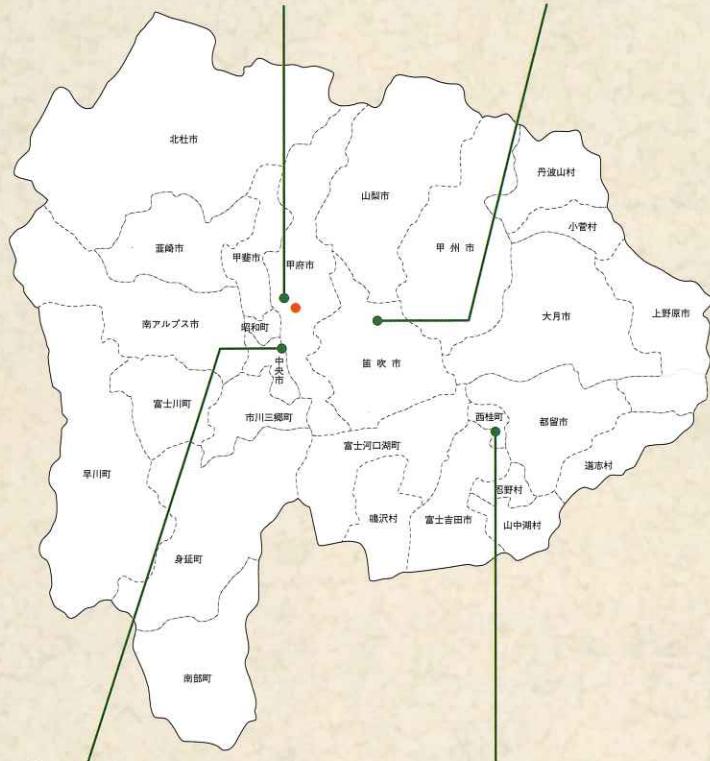
甲府センター

〒 400-0051 甲府市古上条町 428-5  
Tel.055-243-4340 Fax.055-243-6329



一宮センター

〒 405-0071 笛吹市一宮町北都塚 288-1  
Tel.0553-20-5211 Fax.0553-47-4140



フェアトレードショップぱるはぴ

〒 409-3803 中央市若宮 29-1 ジョイフルプラザ 1F  
Tel.055-274-7766 Fax.055-274-7766



西桂センター

〒 403-0022 南都留郡西桂町小沼 869-1  
Tel.0555-25-3767 Fax.0555-25-3670



## 生活協同組合パルシステム山梨

### 本部

〒 400-0051 甲府市古上条町 225-1  
Tel.055-243-6327 Fax.055-243-6359  
<http://www.palsystem-yamanashi.coop>